

設置支援アプリケーションソフトウェア

^型 WT-ZS1000D ユーザーズガイド

このユーザーズガイドの見かた

■本文中の記号の見かた

- ご注意: 操作上の注意が書かれています。
- **メモ**: 機能や使用上の制限など、参考になる 内容が書かれています。
- **1**2 参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

- ●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における商標または登 録商標です。
- ●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の 商標、または登録商標です。本書では™、®、©な どのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容に ついては、改善のため予告なく変更することがあり ます。
- 本書では、特に記載がない限り、Windows 8.1の 画面にて説明しています。
- 説明に使用している画面は表示例です。バージョン により異なる場合があります。

もくじ

はじめに

| パソコン動作環境 | 4 |
|--|---|
| 接続可能なパソコン | 4 |
| 使用 Fのご注意 | |
| ☆ パーシック ニン WT-7S10000 とは 設置支援アプリケーション WT-7S10000 とは | 5 |
| | |
| 1次日ピ | U |

準備

| インストール手順 | 6 |
|------------------|---|
| 設置支援ソフトのインストール | 6 |
| USB ドライバーのインストール | 9 |
| アンインストール手順 | |
| 接続 | |

電波状況を確認する

| WT-ZS1000D 設置支援ソフトを起動する | .14 |
|-------------------------------|-----|
| メニュー構成 | .14 |
| ログファイルの保存先 | .15 |
| ワイヤレスチューナーのファームウェアのバージョンを確認する | .15 |
| ワイヤレスチューナーとの通信を開始する | .16 |
| ステータス画面 | .16 |
| チャンネルサーチをする | .18 |
| チャンネルサーチ画面 | .18 |
| チャンネルサーチの手順 | .19 |
| スペクトラムスキャンをする | .20 |
| スペクトラムスキャン画面(横軸:周波数) | .20 |
| スペクトラムスキャン画面(横軸:時間) | .21 |
| スペクトラムスキャンの手順 | .22 |
| ウォークテストをする | .23 |
| ウォークテスト画面 | .23 |
| ウォークテストの手順 | .24 |
| エラーログを確認する | .25 |
| エラーログ画面 | .25 |
| エラーログの確認手順 | .26 |
| | |

パソコン動作環境

設置支援アプリケーションソフトウェア WT-ZS1000D(以下、本ソフトウェア)は、以下のようなパソコン環境での動作確認 を行なっております。動作環境は 2016 年 11 月現在のものです。最新の動作環境については最寄りの弊社サービス窓口にお問 い合わせください。

接続可能なパソコン

| OS | : | Windows 7 Home Premium Service Pack 1 Windows 7 Professional Service Pack 1 Windows 8.1 Update Windows 8.1 Pro Update Windows 10 Home Windows 10 Pro ※各 OS は日本語版のみの対応です。また、32/64 ビットの両方に対応しています。 |
|----------------|---|--|
| .NET Framework | : | 4.5 以上 ※ Windows 7 をお使いの場合は、.NET Framework 4.5 以上のインストールが必要 です。 |
| CPU、メモリ | : | 各 OS のシステム要件を満たすこと |
| ディスプレイ | : | 1024 × 768 ドット以上、24 ビットフルカラー |
| HDD | : | アプリケーションのインストールに 20MB 以上の空き容量が必要 |
| インターフェース | : | USB 準拠のシリアルインターフェース |

- メモ: ー
- Windows 7またはWindows 8.1のコントロールパネルのデスクトップのカスタマイズのディスプレイの設定、 または、Windows 10の設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡 大率が大きくなっている場合は、アプリケーションの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、 アプリケーションの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。

● パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

使用上のご注意

■OS へのログインについて

アプリケーション使用時のユーザー権限は、Administrator で行なってください。

■アプリケーションのご使用について

本ソフトウェアをインストールしたパソコンでは、パワーセーブ機能、レジューム機能を使用しないでください。通信状態や 通信データが不安定になることがあります。(お使いのパソコンによってはパワーセーブ機能、レジューム機能の名称が異なる 場合があります。)

設置支援アプリケーション WT-ZS1000D とは

本ソフトウェアは、デジタルワイヤレスマイクロホンシステム WT-1000D シリーズのマイクロホンとワイヤレスチューナー の電波状況をモニタリングするためのソフトウェアです。ワイヤレスチューナーと接続したパソコンにインストールして使用 します。

ご注意: -

- デジタルワイヤレスマイクロホンシステムの運用時に本ソフトウェアを使用すると、ノイズが発生することがあります。設置時以外は、本ソフトウェアを使用しないでください。
- 本ソフトウェアを使用するときは、ワイヤレスチューナーに接続されたミキサーやアンプの電源を切るか、音量を最小にしてください。

機能

●ステータス表示機能

ワイヤレスチューナー、ワイヤレスチューナーユニット、マイクロホンの電波状況を確認できます。

● チャンネルサーチ機能

指定したグループの電波状況をリアルタイムに確認できます。

●スペクトラムスキャン機能

指定した周波数帯の電波状況をリアルタイムに確認できます。

● ウォークテスト機能

マイクロホンの電波状況やエラーの推移をリアルタイムに確認できます。

●エラーログ表示機能

ワイヤレスチューナー、ワイヤレスチューナーユニットのエラー履歴を確認できます。

● ワイヤレスチューナー情報表示機能

ワイヤレスチューナー、ワイヤレスチューナーユニットのファームウェアバージョンを確認できます。

インストール手順

本ソフトウェアを使用するには、次のソフトウェアを各ホームページからダウンロードし、インストールする必要があります。

- .NET Framework 4.5 以上: Microsoft 社のホームページからダウンロードしてください。
- WT-ZS1000D 設置支援ソフトとデバイスドライバ:弊社ホームページからダウンロードしてください。

WT-ZS1000D 設置支援ソフトおよびデバイスドライバのインストールやアンインストールを行うときは、Administrator 権限を持つユーザーでパソコンにログインします。インストール後のアプリケーションの実行は、すべてのユーザーが行う ことができます。Administrator 権限やユーザーアカウントの設定については、お使いの OS のヘルプを参照してください。

メモ:

- Windows 7 をお使いの場合のみ、.NET Framework 4.5 以上のインストールが必要です。
- .NET Framework 4.5 以上のインストールは、WT-ZS1000D 設置支援ソフトとデバイスドライバをインストールする前に行なってください。
- デバイスドライバのインストールは、ワイヤレスチューナー (WT-1002D/WT-1004D) を接続する前に行なっ てください。
- インストールがうまくいかない場合は、次の内容を確認し、再度インストールを行なってください。
 - 起動または常駐しているアプリケーションがある場合は、それらをすべて終了させてください。
 - ウィルス対策ユーティリティがインストールを妨げている場合があります。その場合は、インターネットへの 接続を解除してからウィルス対策ユーティリティを終了させてください。インストール完了後はウィルス対策 ユーティリティを再起動してください。
- 説明に使用している画面は表示例です。バージョンにより異なる場合があります。
- インストール手順の画面は、すべて Windows 10 の画面です。

設置支援ソフトのインストール

1 WT-ZS1000D アプリケーションインストールラン チャーを起動する

ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダーの中の WT-ZS1000D フォルダーにある「WT-ZS1000DLauncher.exe」を ダブルクリックします。

メモ:

● 拡張子「.exe」は、パソコンの設定により表示されない場合が あります。

| A WT-ZS1000 | Dアプリケーションインストールランチャー |) |
|-------------|----------------------|---|
| | 設置支援ソフトインストール |] |
| | ドライバインストール | |
| | | _ |

2 WT-ZS1000D のインストーラーを起動する

[設置支援ソフトインストール]をクリックします。





[次へ]をクリックします。

4 ソフトウェア使用許諾契約書に同意する

ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認し、同意できる場合は、〔使 用許諾契約の条項に同意します〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。 同意できない場合は、〔キャンセル〕を押して、インストールを中止 します。

- 5 インストールするフォルダを選択する インストールするフォルダを選択する場合は [変更] をクリックして、 インストールするフォルダを指定します。
- WT-ZS1000D InstallShield Wizard × インストール先のフォルダ このフォルヴィインストールする場合は、「六ヘットを知ッかしてください。別のフォルダにイ ンストールする場合は、「変更」を知ッかします。 WT-ZS10000 のインストール先: CKUVCKENWOODWWT-1000DW 変更(C)...

 InstallShield

 <実気(B) 次へ(N) > キャンセル
- B WT-Z510000 InstallShield Wizard
 プログラムをインストールする準備ができました
 ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
 インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク
 リックすると、ウィザードを終了します。
 InstallShield

(มีเ) เป็น

6 インストールを開始する

[インストール] をクリックします。

7 このパソコンに変更することを許可する

「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御 画面が表示される場合がありますので、[はい]をクリックします。 準備



8 インストールを完了する

インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

USB ドライバーのインストール 1 WT-ZS1000D アプリケーションインストールラン チャーを起動する ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダーの中のWT-ZS1000D フォルダーにある「WT-ZS1000DLauncher.exe」を ダブルクリックします。 メモ: ● 拡張子「.exe」は、パソコンの設定により表示されない場合が あります。 WT-ZS1000Dアプリケーションインストールランチャー \times **2** デバイスドライバのインストーラーを起動する [ドライバインストール]をクリックします。 設置支援ソフトインストール ドライバインストール コーザー アカウント制御 3 このパソコンに変更を加えることを許可する このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します 「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御 か? 画面が表示される場合がありますので、「はい」をクリックします。 🛒 Driver Package Installer 確認済みの発行元: JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ 詳細を表示 はい いいえ **4** デバイスドライバのインストールウィザードを開始する デバイス ドライバのインストール ウィザードの開始 [次へ] をクリックします。 このウィザードでは、いくつかのコンピュータ デバイスを動作させるために 必要なソフトウェア ドライバをインストールします。 続行するには、[太へ]をクリックしてください。 < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル デバイス ドライバのインストール ウィザート 5 デバイスドライバをインストールする ドライバをインストールしています... ドライバのインストールが完了するまで待ちます。 ドライバをインストールしています。しばらくお待ちください。完了するまでに時間がかかることがあり ます < 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル

| 📰 Windows セキュリティ | | × |
|---|------------------------------------|-------------------------------|
| このデバイス ソフトウェアをインストー | レしますか? | |
| 名前: WT-1000D USB Serial Po 教行元: JVCKENWOOD Public | t Driver & Industrial Systems C | |
| "JVCKENWOOD Public Industrial Sy のソフトウェアを常に信頼する(<u>A</u>) | stems C" #6 | インストール() インストールしない(N) |
| (1) 信頼する発行元からのドライバー ソフトウ: | :アのみをインストールしてください。 <u>安全にインフ</u> | トールできるデバイスソフトウェアを判断する方法 |
| | | |
| | | |
| デバイス ドライバのインストール ウィザー | C | |
| | デバイス ドライバのイン | マストール ウィザードの完了 |
| | | |
| | ドライバは、正しくこのコンピュータ | にインストールされました。 |
| | 今、このコンピュータにデバイスを 合は、最初に説明書をお読みく | 接続できます。デバイス付属の説明書がある場 ださい。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | ドライバ名 | 状態 |
| | V JVCKENWOOD Public | 使用できます |
| | (三百八) | a) (27 \$47/4) , |
| | 1000 | 703 47900 |

デバイスドライバをインストール中に Windows セキュリティ画面が 表示された場合、[インストール]をクリックしてインストールを続 行します。

6 デバイスドライバのインストールを完了する

[完了] をクリックして、デバイスドライバのインストールを完了します。

アンインストール手順

メモ:

詳細を表示

はい

いいえ

● アンインストール手順の画面は、Windows 7 のコントロールパネルの画面を除いて、すべて Windows 10 の画面です。

● コントロールパネルの「プログラムと機能」からアンインストールする



5 アンインストールを完了する

しばらくするとアンインストールが完了します。

● 設定の「アプリと機能」からアンインストールする

Windows 10 では「アプリと機能」からもアプリケーションをアンインストールすることができます。

1 「アプリと機能」を表示する Windowsの設定 スタートメニューから「設定」をクリックして、設定を表示します。 「システム」をクリックしてシステムを表示し、「アプリと機能」をク デバイス Blastooth, プリンテ ネットワークとインターネット Wi-fi、旗内モード、VPN 口 個人用設定 音景、Dy2画家、音 אינית? דאינית? リックします。 **システム** ディスプレイ、通知、アプリ、電 更新とセキュリティ (* 92 2 インストーラーを起動する @ #-4 アプリと機能 アプリの一覧から「WT-ZS1000D」を選択して、[アンインストール] 映楽や茎べ替えを行ったり、ドライブでフィルターをかけたりできます。アプリをア ンインストールまたは移動する場合は、一覧で目的のアプリを選びます。 9 712714 ZS1000D をクリックします。 5 名前で並べ替え 1日 アプリと機能 ▲ すべてのドライブの内容を表示 15 既定のアプリ WT-251000D AVCKENWOOD Public & Industria 936 KB □ 通知とアクション ○ 電源とスリーブ 変更 アンインストール - 2NU-5 (以) オフライン マップ 関連設定 □8 97レットモード ロ マルチタスク 印 この PC へのプロジェクション 回 Webサイト用のアプリ バージョン情報 3 アンインストールを開始する このアプリとその関連情報がアンインストールされます。 [アンインストール]をクリックして、アンインストールを開始します。 アンインストール ユーザー アカウント制御 4 このパソコンに変更を加えることを許可する このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します 「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御 か? 画面が表示される場合がありますので、[はい]をクリックします。 setup 確認済みの発行元: JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ 詳細を表示 はい いいえ

5 アンインストールを完了する しばらくするとアンインストールが完了します。

接続

ワイヤレスチューナーとパソコンを USB ケーブルで接続します。

複数のワイヤレスチューナーを 1 台のパソコンでモニタリングしたい場合は、ワイヤレスチューナーの台数分の USB ケーブ ルを用意し、それぞれをパソコンに接続してください。パソコンの USB ポートが足りない場合は、次のように USB ハブを経 由して接続してください。



ご注意: —

● USB ケーブルのワイヤレスチューナー(WT-1002D/WT-1004D)側の端子は Type-B ミニを使用してください。

● USB ハブは、コネクターの形状に合ったものを使用してください。

WT-ZS1000D 設置支援ソフトを起動する

ご注意: ――

- パソコンに必要なソフトウェアがインストールされていること(ICP 6 ページ)、パソコンが USB ケーブル でワイヤレスチューナーに接続されていること(ICP 13 ページ)を確認してください。
- 複数のワイヤレスチューナーをモニタリングする場合、ワイヤレスチューナーごとにアプリケーションを起動する必要があります。



1 デスクトップのショートカットアイコン「WT-1000D 設置支援ソフト」をダブルクリックする

| ファイル テューナー情報 | N17 | | | | | | |
|--------------|----------|-----------|----|-----------|----|---------|------------|
| | . | | | | | | チャンネルサーチ |
| Sidon the | . 7404 | | | | | | スペクトラムスキャン |
| | | | | | | | |
| 000.00MHz | αβ | 000.00MHz | αβ | 000.00MHz | αβ | 000.00M | tz α l |
| | | | | | | | |
| | | チャンネル | | チャンネル | | デャンネル | |
| サブグループ | | | | サブグループ | | サブグルー: | 9 |
| セキュリティ | | セキュリティ | | セキュリティ | | セキュリティ | |
| | | | | | | | |
| マイク種別 | | マイク種別 | | マイク種別 | | マイク種別 | |
| マイリ感症 | | マ伯感度 | | マイク密度 | | マイク感想 | |
| 送信/約~ | | 送信(的)ー | | 送信の一 | | 送信/177 | |
| 音質 | | 音質 | | 合質 | | 870 | |
| | | | | | | サブグルー | |
| 電池技能 | | 電池現象 | | 電包残量 | ∍ | 電池残量 | |
| ウォークテスト | | ウォークテスト | | ウォークテスト | | | |

<u>チューナー選択</u> 接続するチューナーを選択してださい。 WT-1000D USB Driver (COM3) OK キャンセル

| Mル デューナー第 | 岐 ヘルプ | WT | -ZS1000D 股置支 | (捩アプリケーション・(| DOM3 | | | |
|-----------|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|----------|-----------|------|
| 95000 t | 2015 - Field | 北王一十 10cb | P:57 | an 10 A. | 30 60 | - | チャンネル | レサーチ |
| | | | W . W | W2 5K 1/ | N 1/6 | * | スペクトラム | スキャン |
| 2981 | 7-2+ | 22911 | 7-5+ | 22914 | 7-2+ | 20914 | | 7.2+ |
| 08.625MHz | a 🔝 | 809.625MHz | αβ | 809.000MHz | α 🚹 | 809.125M | Hz | α |
| りレーブ | в | グループ | с | グループ | | グループ | F | |
| ヤンネル | 4 | チャンネル | 5 | チャンネル | 4 | チャンネル | 5 | |
| ログループ | 00 | サブグループ | 00 | サブグループ | 00 | サブグループ | 00 | |
| 特エリティ | <u>6</u> | セキュリティ | A | セキュリティ | Q _ | セキュリティ | <u>A.</u> | |
| 710 27-92 | | | | 710 23-92 | - | | | |
| マイク種別 | ハンド型 | マ心細別 | | マイク種別 | ハンド型 | マイク種別 | | |
| マイク感度 | 低い | マ伯感度 | | マイク感度 | 高い | マ小規度 | | |
| 送信/竹一 | High | 送信的ー | | 送信/約- | High | 送信/17- | | |
| 音質 | ポーカル | 音質 | | 音質 | አ ピーቻ | 音質 | | |
| サブグループ | 00 | | | サブヴルーブ | 00 | サブグルーン | | |
| 電池残量 | | 電池残量 | | 電池残量 | | 電池残量 | | |
| ウォークテスト | | ウォークテスト | | ウォークテスト | | DH-077 | U- | |

2 [接続]ボタンをクリックする

3 チューナー選択画面で接続先のワイヤレスチューナーを 選択する

[OK] ボタンをクリックすると、接続状況が表示されます。

- メニュー構成
- ファイル



終了 : アプリケーションを終了します。

| wt-zsı هو | 0000 |
|--|---|
| 7アイル Fユーナー情報 ハルブ バージョン情報 エラーログ ログ表示機能 スペクトラムスキャン(ログ表示) ウォークテスト(ログ表示) エラーログ(ログ表示) エラーログ(ログ表示) エラーログ(ログ表示) | |
| バージョン情報 | : ワイヤレスチューナーのバージョン情報が表示されます。詳細は下記を参照し てください。 |
| エラーログ | : エラーログが表示されます。(103-25 ページ) |
| ログ表示機能 | : ワイヤレスチューナーが未接続時に保存したログの閲覧ができます。 |
| スペクトラムスキャン(ログ表示) | : スペクトラムスキャンのログが表示されます。 |
| ウォークテスト(ログ表示) | : ウォークテストのログが表示されます。 |
| エラーログ(ログ表示) | : エラーログが表示されます。 |

| ヘルプ | | | |
|----------|----------|-------------------------|------------|
| P | | | WT-ZS1000D |
| ファイル チュー | -ナー情報 へ川 | げ WT-ZS1000Dのバージョン情報 | |
| 未接続 | 接続 | チャンネルモード | a1 |
| -1-229-1 | | 7.7+ | 7.7+ |

WT-ZS1000Dのバージョン情報 : バージョン情報が表示されます。

ログファイルの保存先

WT-ZS1000D のログファイルは次の場所に保存されます。 ドキュメント ¥JVCKENWOOD¥WT-1000D¥



ワイヤレスチューナーのファームウェアのバージョンを確認する

ワイヤレスチューナー接続後に、メニューの「チューナー情報」>「バージョン情報」を選択します。ワイヤレスチューナー 本体とスロットに接続されているワイヤレスチューナーユニットのファームウェアバージョン、FPGA バージョンを確認する ことができます。スロットにワイヤレスチューナーユニットが接続されていない場合、バージョン情報は表示されません。

| | ファームウェア バージョン情報 × |
|-------|--------------------------|
| チューナー | ファームウェア:01-00 |
| ユニット1 | ファームウェア:01-00 FPGA:99-01 |
| ユニット2 | ファームウェア:01-00 FPGA:99-01 |
| ユニット3 | ファームウェア:01-00 FPGA:99-01 |
| ユニット4 | ファームウェア:01-00 FPGA:99-01 |

ワイヤレスチューナーとの通信を開始する

WT-ZS1000D 設置支援ソフトを起動すると、ステータス画面が表示されます。ステータス画面では、接続されたワイヤレス チューナーやワイヤレスチューナーに接続されたマイクロホンの各種状態を確認することができます。

ご注意: -

● 各画面で閉じるボタンをクリック、または通信エラーが発生すると、通信を切断してウィンドウが閉じます。



- 1 [接続/切断]ボタン ワイヤレスチューナーと接続/切断します。
- 2 チャンネルモード 10ch モードまたは15ch モードが表示されます。
- 3 アンテナエリア設定 アンテナのエリア設定(広・中・狭)が表示されます。
- ④ [チャンネルサーチ]ボタン
 チャンネルごとの電波の強度を確認するときに使います。(IS 18ページ)
- ⑤ [スペクトラムスキャン]ボタン 周波数ごとの受信信号レベルを確認するときに使います。(№ 20ページ)

6 受信信号レベル

緑地に白抜きで表示されたアンテナは、選択されてい るアンテナです(ダイバーシティ方式)。プログレスバー には、アンテナごとの受信信号レベルが表示されます。

7 周波数

現在のグループ/チャンネルと、周波数が表示されます。

8 サブグループ

ワイヤレスチューナーユニットのサブグループが表示 されます。未設定時は 00、設定時は 01、10、11の いずれかが表示されます。

9 セキュリティ

セキュリティモードの設定が表示されます。

骨 : セキュリティモード ON 🛛 🗛 : セキュリティモード OFF

🛈 マイク種別

マイクロホンの種別が表示されます。

10 マイク感度

マイクロホンの感度が表示されます。

マイクロホンの送信出力が表示されます。

13 音質

マイクロホンの音質が表示されます。

サブグループ

マイクロホンのサブグループが表示されます。

15 電池残量

電池の残量が表示されます。色は、マイクロホンやワ イヤレスチューナーユニットの電池残量表示の色と対 応しています。

🎫 : 使用可(充電不要)

☞ : 使用可 ■ : 未接続

① [ウォークテスト] ボタン

▶ : 交換または充電が必要

マイクロホンの受信状況を確認するときに使います。 (129-23 ページ)

チャンネルサーチをする

使用する現場において、利用可能な周波数を確認するために使用します。

測定対象のグループに属する全チャンネルについて受信信号レベルを測定し、その結果を棒グラフで表示します。測定結果から利用周波数をワイヤレスチューナーに対し簡単に設定できます。

チャンネルサーチ画面



1 [開始/停止]ボタン チャンネルサーチを開始/停止します。

2 受信信号レベルグラフ

チャンネルごとの受信信号レベルが表示されます。グ ラフ上の各チャンネルをクリックして、グループとチャ ンネルを選択することができます。

3 グループ

表示するグループを選択します。デジタルの場合、 10ch モードのときは AB、CD、EF の 3 つから 1 つ、 15ch モードのときは A ~ F、ADE、BCF の 8 つか ら 1 つ、アナログと併用の場合、1 ~ 6 から 1 つを選 択することができます。

4 ピークホールド

チェックを入れると、最高値が更新されたときのみグ ラフの値が更新されます。

5 チャンネルと受信信号レベル

選択しているチャンネルと受信信号レベルが表示され ます。[<<]、[>>] をクリックすると、隣のチャンネ ルに移動します。

6 チャンネル設定

[設定]ボタンを押すと、選択したスロットに対してグ ループ/チャンネルを登録します。 登録するグループの設定は ③ グループ設定で、チャ ンネルの設定は ② 受信信号レベルグラフのチャンネ ルをクリック、または ⑤ チャンネルの [<<]、[>>] ボタンで行なってください。 スロットの選択は、ワイヤレスチューナーユニットが 搭載されたスロットのみできます。

チャンネルサーチの手順

| | | | アンラナ | | | | | | チャンネルサーチ |
|-------------|-----------|------------|-------------|------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 18 4 | 初析 チャンキ | 北モード 10ch | αr 1 | 狹 | α2 狭 β | 1 获 | <i>β</i> 2 | 狭 | スパクトラムスキャン |
| 1 | 7.4+ | 22914 | | 7/71 | 22913 | P | /h+ | 22914 | 7.0+ |
| 08.625MHz | α 🖪 | 809.625MHz | | αβ | 809.000MHz | | α | 809.125M | Hz α |
| ガループ | в | グループ | с | | グループ | ٨ | | グループ | F |
| ドャンネル | 4 | チャンネル | 5 | | チャンネル | 4 | | デャンネル | 5 |
| ナブグループ | 00 | サブブルーブ | 00 | | サブグループ | 00 | | サブグループ | 00 |
| セキュリティ | <u>p.</u> | セキュリティ | P. , | | セキュリティ | P. . | | セキュリティ | P _ |
| マイク ステータス | | | · · | | 219 25-92 | · · | | | . – – |
| マイク種別 | ハンド型 | マイク種別 | | | マイク種別 | ハンドリ | 2 | マの種別 | |
| マイク感度 | 低い | マの感度 | | | マイク感度 | 高い | | マ心感症 | |
| 送信/約- | High | 送回の一 | | | 送信パワー | High | | 送信/17- | |
| 音質 | ボーカル | 合質 | | | 台貿 | 26-5 | | 合列 | |
| サブグループ | 00 | | | | サブワルーブ | 00 | | サブグルー: | 1 |
| 電池残量 | | 電池現象 | | | 電池残量 | | | 電池外量 | |
| ウォークテスト | | ウォークテスト | | | ウォークテスト | | | - 58-597 | ų- |

| P | チャンネルサーチ | | | | | |
|-----------|--|---------------|--|--|--|--|
| 開始 | 70- | | | | | |
| | 60 | | | | | |
| | 55 | | | | | |
| | 50 | | | | | |
| | ¥ 45 | | | | | |
| | jî, 40 | | | | | |
| | 35 | | | | | |
| | 30 | | | | | |
| | 25 | | | | | |
| | 20 A1 A2 A3 A4 A5 B1 B2 B3 B4 チャンネル | B5 | | | | |
| | 557 18/ 1 | ンネル限定 | | | | |
| Ø№-7 A B | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 二ット1 v 19定 | | | | |
| e-9#-11 □ | 受信信号レベル [dB/ μ V] | | | | | |

- 1 マイクロホンの電源スイッチをすべてオフにする
- 2 ステータス画面で [チャンネルサーチ] ボタンをクリッ クする

- 3 チャンネルサーチ画面でスキャンするグループを選択する
- 4 「ピークホールド」を有効にする場合は、チェックを入れる
- 5 [開始] ボタンをクリックする
- 6 必要に応じてグラフを操作する

グラフ上の各チャンネルをクリックすると、受信信号レベルが数値で 表示されます。受信信号レベルの数値の小さいチャンネルが空きチャ ンネルと考えられます。

7 [停止] ボタンをクリックする

8 結果をもとに、チャンネルプランを立てる

受信信号レベルの高いチャンネルは使用されていると考えられます。 ワイヤレスチューナーの取扱説明書に記載された周波数表を確認し、受 信信号レベルの高いチャンネルを避けて、使用するチャンネルを決めて ください。

メモ:

版定 グループ A B v

停止

45

● チャンネルサーチ実行中([開始]ボタンをクリックしてから[停止]ボタンをクリックするまで)はワイヤレ スチューナー本体(WT-1002D/WT-1004D)の表示が次のようになり、ワイヤレスチューナー本体での操作 はできなくなります。



《 ⁵42ネル 》 系4 》 受信信号レベル 60 [dB/ μV]

スペクトラムスキャンをする

使用現場の電波状況を調査するための簡易測定器として利用します。音切れやマイクロホン切断が頻発する際に、妨害波の調査・ 確認が行え、それを記録に残せます。

指定した周波数範囲について、指定した周波数ステップで受信信号レベルを測定し、結果を棒グラフで表示します。測定結果 を保存することができます。また、指定した周波数に対し、受信信号レベルの時間推移を折れ線グラフ表示できます。



スペクトラムスキャン画面(横軸:時間)



🛈 受信信号レベルグラフ(横軸:時間)

時間ごとの受信信号レベルが表示されます。色は、(横 軸:周波数)の場合と同様です。

1 グラフ表示変更ボタン

[+][-]ボタンで画面を拡大・縮小します。[+]ボ タンをクリックすると10分の画面表示、[-]ボタン をクリックすると60分の画面表示になります。[<][>] ボタンで、前または次の時間帯が表示されます。 12 時間と受信信号レベル

選択している時間とその受信信号レベルが表示されます。[<<][>>] をクリックすると、隣の時間帯に移動します。

スペクトラムスキャンの手順

| 1790 T | 786 TH'S | 1.F-H 10cb | P:/97 | - | -0 14 0 | | 80 | 7 | ャンネル | サーチ |
|------------|-----------|------------|-------------|------|------------------|----------|------|------------|-------|------|
| - | 001 7.024 | WC I TOGA | α1 | ×. | az ge ,on | 30 | /52 | 7/ | くクトラム | スキャ |
| P 1 | 7.4+ | 22913 | | 7-4+ | 12914 | | r.a+ | 22914 | | T.4+ |
| 808.625MHz | α 🖪 | 809.625MHz | | αβ | 809.000MHz | | α | 809.125MHz | | α |
| グループ | в | グループ | с | | グループ | ٨ | | グループ | F | |
| チャンネル | 4 | チャンネル | 5 | | チャンネル | 4 | | デャンネル | 5 | |
| サブグループ | 00 | サブブルーブ | 00 | | サブグループ | 00 | | サブグループ | 00 | |
| セキュリティ | A | セキュリティ | P ., | | セキュリティ | P | | セキュリティ | ቤ | |
| マイク ステータス | <u> </u> | | | | 219 25-92 | - × | | | Ŭ | |
| マイク種別 | ハンド型 | マイク種別 | | | マイク種別 | NЛ | 25 | マイク種別 | | |
| マイリ感度 | 低い | マ心感度 | | | マイク感度 | 高い | | マイの感覚 | | |
| 送信/約一 | High | 送信/ウー | | | 送信/約- | High | | 送信/17- | | |
| 音質 | ボーカル | 合質 | | | 台貿 | 26- | F | 合質 | | |
| サブグループ | 00 | | | | サブグループ | 00 | | サブグループ | | |
| 電池技量 | | 電振動量 | | | 電池残量 | | | 電池残量 | | |
| ウォークテスト | | ウォークテスト | | | ウォークテスト | | | -5x-5721- | | |





- 1 マイクロホンの電源をすべてオフにする
- 2 ステータス画面で [スペクトラムスキャン] ボタンをク リックする

- 3 スペクトラムスキャン画面で、「周波数範囲」、「ステップ 周波数」、「ピークホールド」を設定する
- **4** スペクトラムスキャンの結果をログに保存したいときは、 「ログ保存」にチェックを入れる
- 5 [開始] ボタンをクリックする
- 6 必要に応じて、グラフを操作する グラフ上の各周波数をクリックすると、受信信号レベルが表示されます。
- 7 [停止] ボタンをクリックする
- 8 結果をもとに、チャンネルプランを立てる 調査の結果、妨害電波の影響が疑われる場合は、アンテナアッテネー ターの設定を変更する、またはチャンネルを変更するなどの対策を行 なってください。 ※詳しくはワイヤレスチューナーの取扱説明書をお読みください。

ご注意: —

- スキャン中は、設定項目の変更はできません。
- ステップを 125 kHz に変更した場合、終了周波数は 125 kHz の整数倍で切り捨てられます。
- スキャンは、ログを保存する場合は8時間、保存しない場合は1時間経過すると強制的に終了します。

メモ:

● スペクトラムスキャン実行中([開始] ボタンをクリックしてから[停止] ボタンをクリックするまで)は、ワ イヤレスチューナー本体(WT-1002D/WT-1004D)の表示が次のようになり、ワイヤレスチューナー本体で の操作はできなくなります。



ウォークテストをする

利用空間での場所に依存した受信状態を確認したい時に便利な機能です。電源オンしたマイクロホンを持って利用空間を歩き、 その間そのマイクロホンを受信するワイヤレスチューナーの受信信号レベルと受信エラー発生状況の時間推移を折れ線グラフ などでリアルタイムに確認・記録できます。

時間推移の記録は、リアルタイムに目視確認をすることで、場所に依存した受信状況を把握することができます。また、音声 出力無しのまま確認できます。



ウォークテスト画面

2 「ログを開く」ボタン

3 受信信号レベルグラフ

④ グラフ表示変更ボタン

[+][-]ボタンで画面を拡大・縮小します。[+]ボ タンをクリックすると10分の画面表示、[-]ボタン をクリックすると60分の画面表示になります。[<][>] ボタンは、前または次の時間帯が表示されます。

チェックを入れると、スキャンと同時にログ(CSV 形 式)を保存します。ログファイルの名前と保存先は、「ロ グファイルの保存先」(15ページ)を参照して

表示したい項目にチェックを入れます。アンテナα、 βはグラフ上に、同期エラー、データエラーはグラフ の下のバーに表示されます。

7時間と受信信号レベル

選択している時間とその受信信号レベルが表示されま す。同期エラーとデータエラーの有無も表示されます。 [<<][>>]をクリックすると、隣の時間帯に移動します。

ウォークテストの手順

| 1 | | WT- | ZS1000D 設置支 | 膜アプリケーション・(| 00M3 | | - C × |
|------------------|------------|------------|-------------|-------------|-------|------------|------------|
| ファイル チューナー情報 ヘルプ | | | | | | | |
| | | | アンラナ | | | | チャンネルサーチ |
| 122344 | 081 790/40 | /t=1* 10ch | α1 狭一 | α2 狭 ,61 | 教 /52 | 狭 ; | いくクトラムスキャン |
| 22991 | 7.44 | 22912 | 77.04 | 32914 | 7.04 | 2014 | 7.04 |
| 808.625MHz | α 🔝 | 809.625MHz | αβ | 809.000MHz | α 🚹 | 809.125MHz | αβ |
| グループ | 8 | ヴループ | c | グループ | | グループ | F |
| デャンネル | 4 | チャンネル | 5 | チャンネル | 4 | デャンネル | 5 |
| サブグループ | 00 | サブブルーブ | 00 | サブグループ | 00 | サブグループ | 00 |
| セキュリティ | R | セキュリティ | R | セキュリティ | ₽ ∎ | セキュリティ | R |
| マイク ステータス | | | | 219 25-92 | | | - |
| マイク種別 | ハンド型 | マイク種別 | | マイク種別 | ハンド型 | マイク種別 | |
| マイク感症 | 低い | マ心感度 | | マイク感度 | 高い | マイの感謝 | |
| 送信/約- | High | 送信/ワー | | 送信の一 | High | 送信/17- | |
| 音質 | ボーカル | 合質 | | 合質 | スピーチ | 合列 | |
| サブグループ | 00 | | | サブグループ | 00 | サブグループ | |
| 電池残量 | | 電池現象 | | 電泡残量 | | 電池技能 | |
| ウォークテスト |) | ウォークテスト | | ウォークテスト | | ウォークテスト | |

1 マイクロホンとワイヤレスチューナーのグループ/チャンネルなどの設定を合わせる

ワイヤレスチューナーがマイクロホンの電波を受信できる状態にして おきます。

2 ステータス画面の該当するワイヤレスチューナーユニットの[ウォークテスト] ボタンをクリックする



- **3** ウォークテスト画面の「表示」で表示させたい項目に チェックを入れる
- 4 ログを保存する場合は、「ログ保存」にチェックを入れる
- 5 [開始] ボタンをクリックする
- 6 ワイヤレスマイクロホンの電源をオンにして、マイクロホンを使用する空間全体を歩く
- 7 [停止] ボタンをクリックする
- 8 必要に応じてグラフを操作する グラフ上の各時間をクリックすると、受信信号レベルが表示されます。
- 9 グラフを分析し、問題があるときは対策をする
 - ・受信信号レベルが極端に弱い箇所がある アンテナの位置を変えるなどの対策をしてください。
 - ・受信信号レベルに大きな変動がなく、十分なレベルで受信しているにも関わらず、データエラーや同期エラーが発生する
 妨害電波が強いと考えられます。チャンネルサーチ(12)18
 ページ)やスペクトラムスキャン(12)20ページ)を行なって原因を特定して対策してください。

ご注意: -

- ウォークテスト実行中は、グラフの操作はできません。停止後またはログを開いているときのみグラフの操作が可能です。
- ウォークテストは、ログを保存する場合は8時間、保存しない場合は1時間経過すると強制的に終了します。



エラーログを確認する

ワイヤレスチューナーとワイヤレスチューナーユニット間の電気的通信エラーなど、エラーログを取得し確認することができます。



エラーログの確認手順



1 ワイヤレスチューナー接続後に、メニューの「チューナー 情報」>「エラーログ」を選択する

エラーログ取得中のダイアログが表示されます。

ご注意: —

- エラーログ取得中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- メニューの「ログ表示機能」>「エラーログ(ログ表示)」をクリックすると、ログ表示モードで起動します。ログ表示モードでは、 [エラーログ取得]ボタン、[エラーログ消去]ボタンは使用できません。

2 [エラーログ取得] ボタンをクリックする エラーログが表示されます。

| | | logViewer | |
|----------|----------|-----------|--|
| エラーログ取得 | No. 程速时間 | 19- | |
| エラーロが消去 | | | |
| 15-05度左 | | | |
| | | | |
| エラーログを開く | | | |
| | | | |

エラーロジ取得
 エラーロジ消去
 エラーロジ保存
 エラーログ保存

| | | logviewei | <u>э</u> т |
|-----|-------------------|--------------------|----------------|
| No. | \$7-34AM | 75- | ்ப |
| 1 | 0E 06488 192 5585 | エノ fe)未i(耕設定Tラー | - |
| 2 | 0日 (時間 1分 48秒 | チャンネル射設定エラー | |
| 3 | 0日 (時間 1分 35秒 | チャンネル教設定エラー | |
| 4 | 0日 (時間 1分 23秒) | チャンネル教師定工ラー | |
| 6 | 0日 0時間 0分 51秒 | チャンネル動設定エラー | |
| 7 | 0日 (時間 0分 33秒 | チャンネル射設定エラー | |
| 8 | 0日 (時間 0分 22秒 | チャンネル射設定エラー | |
| - | | | |
| - | | | |
| | | | |

3 エラーログを確認する



- 4 エラーログを消去または保存する
 - 消去する場合は、[エラーログ消去] ボタンをクリックします。確 認ダイアログで [OK] をクリックすると消去され、[キャンセル] をクリックすると消去せずに戻ります。
 - ・保存する場合は、[エラーログ保存] ボタンをクリックします。
 - ・保存したエラーログを表示する場合は、[エラーログを開く] ボタ ンをクリックします。



ホームページ http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation